

【表紙】

【提出書類】	有価証券報告書の訂正報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の2第1項
【提出先】	近畿財務局長
【提出日】	2020年7月31日
【事業年度】	第55期（自 2019年1月1日 至 2019年12月31日）
【会社名】	不二精機株式会社
【英訳名】	FUJI SEIKI CO.,LTD.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 伊井 剛
【本店の所在の場所】	大阪市生野区巽東四丁目4番37号 (同所は登記上の本店所在地であり、実際の業務は「最寄りの連絡場所」で行っております。)
【電話番号】	該当事項はありません。
【事務連絡者氏名】	該当事項はありません。
【最寄りの連絡場所】	大阪市中央区瓦町四丁目8番4号 井門瓦町第2ビル
【電話番号】	06(7166)6820(代表)
【事務連絡者氏名】	専務取締役 山本 幸司
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 (東京都中央区日本橋兜町2番1号)

1【有価証券報告書の訂正報告書の提出理由】

2020年3月30日に提出いたしました第55期（自 2019年1月1日 至 2019年12月31日）有価証券報告書の記載事項の一部に誤りがありましたので、これを訂正するため有価証券報告書の訂正報告書を提出するものであります。

2【訂正事項】

第一部 企業情報

第5 経理の状況

1 連結財務諸表等

(1) 連結財務諸表

注記事項

(税効果会計関係)

3【訂正箇所】

訂正箇所は_____を付して表示しております。

第一部【企業情報】

第5【経理の状況】

1【連結財務諸表等】

(1)【連結財務諸表】

【注記事項】

(税効果会計関係)

(訂正前)

1. 繰延税金資産及び繰延税金負債の発生の主な原因別の内訳

	前連結会計年度 (2018年12月31日)	当連結会計年度 (2019年12月31日)
	(千円)	(千円)
繰延税金資産		
賞与引当金	5,010	10,408
製品評価損	6,144	9,586
未払事業税	2,446	5,504
税務上の繰越欠損金 (注) 2	310,065	235,039
退職給付に係る負債	2,369	3,142
役員退職慰労引当金	4,446	4,446
減損損失	3,972	3,852
繰越外国税額控除	5,252	28,250
その他	40,931	43,220
繰延税金資産の小計	380,637	343,447
税務上の繰越欠損金に係る評価性引当額	290,705	206,246
将来減算一時差異等の合計に係る評価性引当額	15,950	38,877
評価性引当額の小計 (注) 1	306,656	245,123
繰延税金資産の合計	73,981	98,324
繰延税金負債		
買換資産圧縮積立金	11,469	10,900
固定資産圧縮積立金	6,671	6,364
その他	27,906	66,765
繰延税金負債の合計	46,047	84,029
繰延税金資産の純額	27,933	14,295

(注) 1. 評価性引当額が61,533千円減少しております。この減少の主な内容は、当社及び連結子会社において、税務上の繰越欠損金に係る評価性引当額が減少したことによるものです。

2. 税務上の繰越欠損金及びその繰延税金資産の繰越期限別の金額
当連結会計年度(2019年12月31日)

(千円)

	1年以内	1年超 2年以内	2年超 3年以内	3年超 4年以内	4年超 5年以内	5年超	合計
税務上の繰越欠損金 (a)	30,199	17,921	10,288	150,755	4,334	39,192	252,691
評価性引当額	30,199	3,009	2,859	144,302	4,334	39,192	223,898
繰延税金資産	-	14,911	7,428	6,452	-	-	28,792

(a) 税務上の繰越欠損金は、法定実行税率を乗じた額であります。

(訂正後)

1. 繰延税金資産及び繰延税金負債の発生の主な原因別の内訳

	前連結会計年度 (2018年12月31日)	当連結会計年度 (2019年12月31日)
	(千円)	(千円)
繰延税金資産		
賞与引当金	5,010	10,408
製品評価損	6,144	9,586
未払事業税	2,446	5,504
税務上の繰越欠損金 (注) 2	310,065	249,681
退職給付に係る負債	2,369	3,142
役員退職慰労引当金	4,446	4,446
減損損失	3,972	3,852
繰越外国税額控除	5,252	28,250
その他	40,931	43,220
繰延税金資産の小計	380,637	358,089
税務上の繰越欠損金に係る評価性引当額 (注) 2	290,705	220,888
将来減算一時差異等の合計に係る評価性引当額	15,950	38,877
評価性引当額の小計 (注) 1	306,656	259,765
繰延税金資産の合計	73,981	98,324
繰延税金負債		
買換資産圧縮積立金	11,469	10,900
固定資産圧縮積立金	6,671	6,364
その他	27,906	66,765
繰延税金負債の合計	46,047	84,029
繰延税金資産の純額	27,933	14,295

(注) 1. 評価性引当額が46,890千円減少しております。この減少の主な内容は、当社及び連結子会社において、税務上の繰越欠損金に係る評価性引当額が減少したことによるものです。

2. 税務上の繰越欠損金及びその繰延税金資産の繰越期限別の金額
当連結会計年度(2019年12月31日)

(千円)

	1年以内	1年超 2年以内	2年超 3年以内	3年超 4年以内	4年超 5年以内	5年超	合計
税務上の繰越欠損金 (a)	30,199	17,771	7,428	155,090	-	39,192	249,681
評価性引当額	30,199	2,859	-	148,637	-	39,192	220,888
繰延税金資産	-	14,911	7,428	6,452	-	-	28,792

(a) 税務上の繰越欠損金は、法定実効税率を乗じた額であります。